

「ノーベル平和賞候補にノミネートされることが決定!!!」

～戦争しない憲法 9 条を 70 年近く保持している「日本国民」に～

「戦争しない」という憲法も、
またその憲法を 70 年近くも保持し続けていることも
素晴らしい事です。
「憲法九条にノーベル平和賞を！」

★2014 年度の受賞を目指して、一人一人が出来る3つのこと★

① 署名する

大人も子供も、日本だけでなく全世界の人が署名できます(子どもなどの理由による代筆可)

《署名方法 2つ》

・ネット署名 <http://chn.ge/1bNX7Hb>

・署名用紙(用紙をコピーして拡散して下さい)

* 署名用紙ウラ面の憲法前文と9条(日本語・英語)もお読みください

② 知り合いに広める

署名が集まれば集まるほど、ノーベル平和賞受賞の可能性が大きくなります。

③ 世界中の推薦資格をお持ちの方に呼びかける

★推薦資格のある方は、ぜひ書いて下さい。

ノーベル平和賞の推薦締切 2 月 1 日までに、一人でも多くの推薦人がそれぞれの立場や視点から、
戦争放棄の憲法 9 条を保持している「日本国民」が、ノーベル平和賞にふさわしい理由を説明する推薦文を
ノルウェー・ノーベル委員会に送付して下さいようお願い致します。

《 推薦資格のある方 》

●国会議員や閣僚 ●国際裁判所の裁判官 ●大学の学長、社会科学・歴史学・哲学・法学・神学の教授及び名誉教授、平和研究所や外交政策研究所の所長 ●ノーベル平和賞の受賞者 ●ノーベル平和賞受賞団体の役員 ●ノルウェーノーベル委員会の現または元メンバー ●ノルウェーノーベル委員会の元アドバイザー
(推薦に関する詳細は、<http://www.nobelprize.org/nomination/peace/> をご参照ください。)

★「ピースアップ9条可視化の会」は、

この新年1月3日の東京新聞に載った「憲法九条にノーベル平和賞を」実行委員会の働きに心から賛同して、できる限り多くの人達に知らせようと協力し始めた会です。発案者の小さいお子さまを持つ鷹巣さんは、一昨年欧州連合(EU)がノーベル平和賞に選ばれ、ハッと、「九条を保持している日本国民」というアイディアを考えついて声をあげられました。受賞への希望と共に、憲法9条が世界に知られ、認められて初めて持っている尊さに気づく日本人もいるかもしれないとの希望をも持ちつつ。いま、広く世界に、**日本が今持っているこの素晴らしい憲法を広めるチャンス!**

です。みなさまのご協力をお願いします。(詳細は <http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/>)

★[ピースアップ 9条可視化の会] <http://peaceup9.jp/> 問合せ先 長友 090-4960-4676 相沢 03-5382-3220

ノーベル平和賞候補に
ノミネートされることが決定 !!!

戦争をしない憲法を 70 年近く
保持している「日本国民に」

憲法

9 条に

ノーベル平和賞を！

世界各国に平和憲法を広めるために、
日本国憲法、特に第 9 条、を保持
している日本国民にノーベル平和賞
を授与してください

To spread a pacifist constitution in all
the countries of the world, please award
the Nobel Peace Prize to the Japanese
citizens who have continued maintaining
this pacifist constitution, **Article 9** in
particular, up until present.

「戦争しない」という憲法も、また
その憲法を 70 年近く保持続けて
いることも素晴らしいことです

2014 年の受賞をめざして、
みなさまの応援をお願いいたします



ruka

世界各国に平和憲法を広めるために、日本国憲法、特に第 9 条、を保持している日本国民にノーベル平和賞を授与してください

" To spread a pacifist constitution in all the countries of the world, please award the Nobel Peace Prize to the Japanese citizens who have continued maintaining this pacifist constitution, Article 9 in particular, up until present.

ノルウェー・ノーベル委員会 御中

日本国憲法は前文からはじまり 特に第 9 条により 徹底した戦争の放棄を定めた国際平和主義の憲法です。特に 第 9 条は、戦後、日本国が戦争をできないように日本国政府に歯止めをかける大切な働きをしています。そして、この日本国憲法第 9 条の存在は、日本のみならず、世界平和実現の希望です。しかし、今、この日本国憲法が改憲の危機にさらされています。

世界各国に平和憲法を広めるために、どうか、この尊い平和主義の日本国憲法、特に第 9 条、を今まで保持している日本国民にノーベル平和賞を授与してください。

To:

The Norwegian Nobel Committee : Dear Mr.Thorbjorn Jagland (Chair of the Nobel Committee)

The Japanese Constitution is a pacifist constitution that stipulates renunciation of war in its preamble and notably Article 9. Article 9 in particular has been playing an important role since the end of WWII in preventing the Japanese government from waging war. Article 9 has become the hope of those who aspire for peace in Japan and the world. However, the Japanese Constitution is currently under the threat of being revised.

To spread a peace constitution in all the countries of the world, we request that the Nobel Peace Prize be given to the Japanese citizens who have continued maintaining this pacifist constitution, Article 9 in particular, up until present.

Name (名前)	Address (住所)

呼びかけ団体：「憲法 9 条にノーベル平和賞を」実行委員会 共同代表：石垣、鷹巣、竹内、星野 送り先：〒252-0001 神奈川県座間市相模が丘 1-3 6-3 4 座間郵便局留め 担当：落合正行 宛 ブログ： http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/ F B： https://www.facebook.com/nobelpeace9jou ネット署名： http://chn.ge/1bNX7Hb でもご賛同いただけます	取扱い団体
---	-------

*送付先 上記の呼びかけ団体あてに、署名の原本を送ってください。(FAX は不可です。)

*いただいた署名は、ノルウェー・ノーベル委員会に提出する以外の目的では、使用いたしません。

*署名は、日本語、又はローマ字でお願いします。

*ノーベル平和賞を授与されるまで継続いたします。

日本国憲法

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

THE CONSTITUTION OF JAPAN

We, the Japanese people, acting through our duly elected representatives in the National Diet, determined that we shall secure for ourselves and our posterity the fruits of peaceful cooperation with all nations and the blessings of liberty throughout this land, and resolved that never again shall we be visited with the horrors of war through the action of government, do proclaim that sovereign power resides with the people and do firmly establish this Constitution. Government is a sacred trust of the people, the authority for which is derived from the people, the powers of which are exercised by the representatives of the people, and the benefits of which are enjoyed by the people. This is a universal principle of mankind upon which this Constitution is founded. We reject and revoke all constitutions, laws, ordinances, and rescripts in conflict herewith.

We, the Japanese people, desire peace for all time and are deeply conscious of the high ideals controlling human relationship, and we have determined to preserve our security and existence, trusting in the justice and faith of the peace-loving peoples of the world. We desire to occupy an honored place in an international society striving for the preservation of peace, and the banishment of tyranny and slavery, oppression and intolerance for all time from the earth. We recognize that all peoples of the world have the right to live in peace, free from fear and want.

We believe that no nation is responsible to itself alone, but that laws of political morality are universal; and that obedience to such laws is incumbent upon all nations who would sustain their own sovereignty and justify their sovereign relationship with other nations.

We, the Japanese people, pledge our national honor to accomplish these high ideals and purposes with all our resources.

CHAPTER II. RENUNCIATION OF WAR

Article 9.

Aspiring sincerely to an international peace based on justice and order, the Japanese people forever renounce war as a sovereign right of the nation and the threat or use of force as means of settling international disputes.

In order to accomplish the aim of the preceding paragraph, land, sea, and air forces, as well as other war potential, will never be maintained. The right of belligerency of the state will not be recognized.